



# 琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会  
介護老人福祉施設 琴清苑  
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099  
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706  
URL <http://www.futabakai.or.jp>  
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第50号



■ 年忘れ大会の出演者



## 新年挨拶

社会福祉法人 双葉会  
琴清苑長 小澤 大

新年おめでどうございます。  
どなた様も健やかに平成二十四年の  
初春をお迎えのことと存じます。

昨年、東日本大震災を始め世界各地で台風・地震・洪水等々、多くの人命が奪われるという想像を絶する災害多発の年でありました。これから厳冬を迎える被災者のご苦勞を思うと心が痛みます。一日も早い復旧・復興を目指し、国をあげての支援が必要で、

世界経済の先行きも不透明であり、日本経済が強くなったとは思えないのに異状な円高は、高止まりであり、たまりかねた輸出企業の中には海外へ本拠を移すという傾向が現れていて、国内雇用の面でも先行き心配はつきないものがあります。

今回の震災では支えあう強い絆が生まれ、今、総ての国・人・が互いに手をとり合っていることが最も求められるものと思います。このような時、当

苑は開設三十五周年を迎えました。創設者である佐藤照重大和尚は常々「福祉は心」と力説しておられました。人は誰も心に衝撃を受けたとき、自律神経の働きによって顔は蒼白となり、脈は速くなり、食欲もなくなる。これらは速くなら、食事もなくなり、これは極めて大切なことと説かれる。これはホム

ムの処遇にびったりとあてはまる言葉であり、今更ながら大和尚の心の深さを思い知らされております。  
今後、利用者の方の心に寄り添ったお手伝いをさせて頂くことを施設の姿勢と導きとしてまいります。更なるご指導をよろしく願います。

## 東京都福祉サービス第三者評価受審に伴うアンケートのお礼

日頃よりご家族の皆様におかれましては、当施設の運営に対しご協力賜り、誠にありがたく感謝しております。

今年度の福祉サービス第三者評価は「経営創研株式会社」により行われます。この評価の目的は「利用者本位の福祉」の実現にあります。事業者が提供している組織の経営やマネジメント、福祉サービスの内容がどのような状態にあるか。事業者にとって、どんな点が良い点であり、どのような点を改善すべきか。事業者が事業経営やサービス提供に当たって大切にしている理念や方針の実現に向け、現状はどうなっているのか。との事業評価を明らかにし、利用者の視点から事業者の自己変革を通じて福祉サービスの質的向上を持続的に実現するよう気づきを促すことを目的としています。

事業者の自己評価と利用者調査を集計・分析をおこない訪問調査を経て報告書が作成されます。ご家族皆様へ送付させていただきましたアンケートは貴重なご意見として琴清苑の気づきのヒントとさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

## 特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員によるケア連携協働のための研修開催について



特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携による医療的ケアの実施をおこなう為に、東京都社会福祉協議会主催の研修に参加した看護師2名が講師になり、琴清苑で10月4日・12日・14日、11月2日・16日・18日の8日間にわたり研修が行われました。

琴清苑の介護職員28名が研修に参加しました。重度化した利用者にとって安心・安全なケアを提供するために、真剣な表情で14時間に及ぶ研修を行いました。この研修を実施することにより、介護保険が導入されて以来、重度化した利用者に対して適切なケアが実践出来るような実施体制を整備していけるものと思われま。

## 奥多摩消防署自衛消防審査会 準優勝!!

### 平成23年度 自衛消防審査会実施結果

11月14日（水）に行われた火災予防業務協力者表彰式（奥多摩町福祉会館）において、9月13日（火）に実施された自衛消防審査会の結果が発表され、準優勝に輝きました。

#### 採点結果

- ・隊長の行動等 84点（平均点74、2点）
- ・初期消火 63点（平均点59、0点）
- ・避難誘導・応急救護 67点（平均点58、0点）

#### 参加職員

- ・隊長 原島 寿々江
- ・1番員 日高 達也
- ・2番員 原島 憲二
- ・3番員 小田 嶋真一
- ・4番員 後藤 裕也

これからも、東北地方太平洋沖地震を教訓に、さらなる防火体制の強化・予防消防の徹底を重点的に、利用者・職員が安心して生活、勤務できる体制作りを進めて行きます。





### 職員の異動

平成24年1月1日付で当苑の事務長の奥平周二が同一法人の寿楽荘の施設長に異動します。琴清苑で栄養士を皮切りに31年の長期に渡り勤務して頂き、数々の功績を挙げてまいりました。今後も双葉会発展のために尽力してもらいたいと思います。

平成23年12月31日付で生活相談員の小川栄喜が自己都合により退職いたしました。平成7年1月1日より17年に渡り勤務してまいりました。

今後の生活相談業務につきましては、介護支援専門員の佐々木健児が兼務していきます。

### 琴清苑職員紹介



介護職員  
松久 哲也

昨年の4月に入職した松下哲也です。病院での勤務経験はありますが、この様な施設ではまだ多くの未経験ですので、まだまだ至らない事も多々あると思います。一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

### 柚木先生の夫話

#### 美しい笑顔の話

私はバス通勤をしているのですが、毎朝、とある停車場でひとりの女の子が乗車してきます。小学校高学年か中学校低学年くらいでしょうか。生まれつきのご病気をもちのようです。毎朝その女の子のおばあさんと思われる方が付き添って乗って来られます。私はいつもは何気なくぼんやりとその光景を見ていたのですが、先日たまたま初めてその少女のお母さんらしき方を見かけました。3人でお家を出て停車場まで来て、お母さんはこれから自転車で出勤、少女とおばあさんはバスで学校に向かうのでしょうか。バスに乗り込んだ2人に向かって、お母さんは片手で自転車を抱えながら、もう一方の手でしきりに手を振っています。少女は恥ずかしがってか、おばあさんが促してもお母さんの方を振り向こうとしません。その少女の背中に向かってお母さんは苦笑いをしながら手を振り続けています。その時のお母さんの笑顔が素晴らしいのです。私は感動のあまりバスの中にもかかわらず思わず涙がこぼれそうになりました。

難くありません。辛い涙を流された日も度々あったのではないかと思います。それにもかかわらず、一点の曇りもない笑顔で少女の背中に向かって手を振るそのお母さんの姿に、私は深い感動を覚えました。そのお母さんはその光景を私が見ていたことも、自分の行動が人の心に感動を引き起こしたことも全く気付いていらっしやらないでしょう。しかし、おそらく度々繰り返されたであろうこの光景は、たくさんの人の心に私が感じたと同じような感動を引き起こして来たに違いないと思うのです。

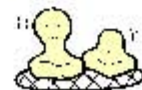
仏教には顔施という言葉があるのですが、その笑顔はまさしく顔施そのものだと思います。人は自分の苦しみや悲しみを通してしか人を勇気づけたり励ましたりは出来ないのかもしれない。前日の疲れが残ったまま少し憂鬱な気が、その光景に出会えたおかげで、私はすっかり元氣と勇氣を取り戻して、その日の仕事に向かうことができました。

霜の降りた寒い冬の朝の、たった数十秒の出来事でしたが、その光景は長く私の心に留まって、私の元氣の源となってくれるように思います。



### 行事予定

1月1日	新年挨拶 誕生会
2月3日	節分 誕生会
2月10日	誕生会
2月15日	涅槃会
3月4日	誕生会
3月22日	彼岸供養



### 《入苑された利用者》

平成二十三年十月〜十二月

10月	練馬区 奥多摩町	1名
11月	奥多摩町	2名
12月	奥多摩町	1名

### 《ボランティア状況》

平成二十三年十月〜十二月 (敬称略)

介護補助

トミヨ会	
杉山 初	
指圧奉仕	
奥多摩奉仕会	



### ◆編集後記◆

寒い冬がやってきました。ノロウイルス・インフルエンザ・出血性大腸菌0157・マイコプラズマ肺炎などなどの冬も利用者を狙う菌がはやりだしています。施設内で流行しないように極力気をつけています。感染症対策委員会などでも常に注意を喚起しています。ご家族の皆さんもお体を大切にしてください。